

* 2021 年度に履修登録された HB05（介護における人間理解）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目 講義科目

基本/OCR 応用/OCR

授業科目名	介護における人間理解	科目コード	配当年次	単位
担当教員	小野 洋子	FE32	—	4

科目の概要

2003年度に障害者基本計画「重点施策実施5か年計画」が決定された。基本的な考えは、「リハビリテーション」と「ノーマライゼーション」の理念を継承し、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう「共生社会」を目指すことである。

本科目では、地域社会のなかで豊かで潤いある生活をするために、かかわる側とかかわられる側とが互いに関与しあう相互関係のなかで実現していく人間理解の視点に立ち、理解のために必要な情報、家族理解と援助方法、公的なホームヘルプサービスなど、現場における援助のあり方を学習する。

科目の到達目標

- ① 要介護者を支える基本理念、人間理解の基礎となるもの、ノーマライゼーションを理解し、問題点や課題をとらえて分析・考察ができる。
- ② 地域社会における要介護者、利用者の要求を把握する手段、援助の関係づけについて説明ができ、社会福祉資源の活用や支援システムのあり方について考察できる。

テキスト

『介護における人間理解』三澤 昭文（監），中央法規出版，1999年
『サブテキスト 介護における人間理解』石井 孝子，産業能率大学，2007年

テキストの読み方

- ① 「第1章・第3章・おわりに」を中心に、ノーマライゼーションの理念を学び、人間理解の本質を理解する。
- ② 第2章以降で、介護過程の基本づくり（支持、共有、共感）を関係づけて介護過程を類別できるようにする。
- ③ 介護に関する問題点や援助の課題について、個別化された分析・考察を行う。
- ④ 高齢者福祉政策の経緯、介護制度については、サブテキストを活用する。

単位修得の方法

レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。